

# 令和4年度 山形県病院事業会計決算の概要

【経常収支は20億2,700万円の黒字】

令和5年7月  
病院事業局

## 1 病院事業合計

(1) 入院及び外来の概況 (単位:百万円)

	令和4年度		
	増減	増減率	
入院収益 a	21,107	582	2.8%
入院患者延数 b	337,877人	▲8,669人	▲2.5%
入院診療単価 a/b	62,470円	3,243円	5.5%
平均在院日数	15.2日	0.2日	1.3%
病床利用率	72.4%	▲1.9p	—
外来収益 c	9,248	281	3.1%
外来患者延数 d	511,289人	▲1,339人	▲0.3%
外来診療単価 c/d	18,086円	594円	3.4%

(2) 損益の概況 (単位:百万円)

	令和4年度		
	増減	増減率	
総収益 A	42,787	302	0.7%
経常収益 B	42,726	1,080	2.6%
医業収益 C	31,050	860	2.8%
医業外収益 (うち新型コロナ補助金)	11,676 (4,337)	220 (91)	1.9% (2.1%)
特別利益	61	▲778	▲92.7%
総費用 D	40,943	901	2.3%
経常費用 E	40,699	686	1.7%
医業費用 F	38,858	632	1.7%
医業外費用	1,841	54	3.0%
特別損失	244	215	741.4%
医業収支 C-F	▲7,808	228	—
総収支 A-D	1,844	▲599	▲24.5%
経常収支 B-E	2,027	394	24.1%

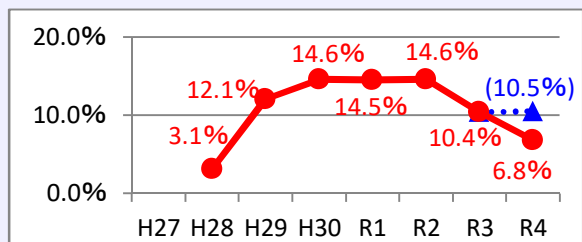
(参考①)新型コロナウイルス感染症(新型コロナ)にかかる補助金等の受入状況 (単位:百万円)

	令和4年度		
	増減	増減率	
医業外収益(病床確保料等)	4,337	91	2.1%
特別利益	3	▲3	▲50.0%
資本的収入(設備整備等)	455	▲290	▲38.9%
計	4,795	▲202	▲4.0%

(参考②) 資金不足比率の推移

病院事業会計は、平成28年度から資金不足が生じ、平成29年度には資金不足比率が10%を超えたため、「資金不足等解消計画」を策定し、経営改善に取り組んでいる。

令和4年度の地方財政法による資金不足比率は、計画値10.5%に対し6.8%となった。



## 2 中央病院 【経常収支は18億8,000万円の黒字】

(1) 新型コロナ対応のための主な取組

- 新型コロナ専用病床を49床(最大で76床)確保(※看護体制確保のため、一部の病床を休床)
- 新型コロナ感染症外来の運営 等

(2) 入院及び外来の概況 (単位:百万円)

	令和4年度		
	増減	増減率	
入院収益 a	13,449	692	5.4%
入院患者延数 b	151,604人	1,538人	1.0%
入院診療単価 a/b	88,710円	3,701円	4.4%
平均在院日数	10.6日	0.2日	1.9%
病床利用率	69.9%	0.7p	—
外来収益 c	5,664	241	4.4%
外来患者延数 d	244,652人	▲392人	▲0.2%
外来診療単価 c/d	23,150円	1,016円	4.6%

(4) 令和4年度の主な設備投資 (単位:百万円)

- 空調設備更新(R2~R5債務負担)(214)
- 医療機器等の整備(390)
  - ・生体情報モニタ一式(88)
  - ・循環器用超音波診断装置(39)
  - ・超音波診断装置(26)
  - ・多人数用透析液供給装置(19)
  - ・超音波手術装置(16) 等

(3) 経常収支の概況 (単位:百万円)

	令和4年度		
	増減	増減率	
医業収益 A	19,545	965	5.2%
医業外収益 B (うち新型コロナ補助金)	6,411 (2,707)	19 (7)	0.3% (0.3%)
医業費用 C	22,824	391	1.7%
医業外費用 D	1,252	49	4.1%
医業収支 A-C	▲3,279	574	—
経常収支(A+B)-(C+D)	1,880	544	40.7%

《主な増減要因》

- 医業収益 [+965]
  - ・診療単価の増等による入院及び外来収益の増 [入院: +692、外来: +241]
- 医業外収益 [+19]
  - ・新型コロナ補助金の増 [+7]
  - ※うち病床確保料 [▲67]
  - ・高額医療機器の減価償却開始に伴う長期前受金の増 [+35]
- 医業費用 [+391]
  - ・高額医薬品の増等による薬品費の増 [+218]
  - ・手術件数の増や入院患者の増による診療材料費の増 [+226]

## 4 河北病院 【経常収支は1億4,400万円の赤字】

(1) 新型コロナ対応のための主な取組

- 新型コロナ専用病床を8床確保(※R4.8.10~2床増床。看護体制確保のため、一部の病床を休床)
- 山形県PCR自主検査センターの運営
- 新型コロナ感染症外来の運営 等

(2) 入院及び外来の概況 (単位:百万円)

	令和4年度		
	増減	増減率	
入院収益 a	1,194	104	9.5%
入院患者延数 b	26,570人	1,088人	4.3%
入院診療単価 a/b	44,928円	2,164円	5.1%
平均在院日数	16.2日	▲0.4日	▲2.4%
病床利用率	56.0%	2.3p	—
外来収益 c	818	▲12	▲1.4%
外来患者延数 d	66,566人	▲94人	▲0.1%
外来診療単価 c/d	12,287円	▲168円	▲1.3%

(4) 令和4年度の主な設備投資 (単位:百万円)

- 医療機器等の整備(203)
  - ・一般X線撮影装置(79)
  - ・生化学自動分析装置 2台(37) 等

(3) 経常収支の概況 (単位:百万円)

	令和4年度		
	増減	増減率	
医業収益 A	2,050	75	3.8%
医業外収益 B (うち新型コロナ補助金)	1,686 (489)	▲202 (▲249)	▲10.7% (▲33.7%)
医業費用 C	3,753	12	0.3%
医業外費用 D	127	▲31	▲19.6%
医業収支 A-C	▲1,703	63	—
経常収支(A+B)-(C+D)	▲144	▲108	—

《主な増減要因》

- 医業収益 [+75]
  - ・患者延数の増等による入院収益の増 [+104]
- 医業外収益 [▲202]
  - ・新型コロナ補助金の減 [▲249]
  - ※うち病床確保料 [▲213]
  - うちPCR自主検査センター分 [▲34]
  - ・一般会計繰入金の増 [+43]
- 医業費用 [+12]
  - ・看護師の処遇改善等による給与費の増 [+14]
  - ・電気料高騰による光熱水費の増 [+15]

## 3 新庄病院 【経常収支は7億300万円の黒字】

(1) 新型コロナ対応のための主な取組

- 新型コロナ専用病床を15床(最大で83床)確保(※看護体制確保のため、一部の病床を休床)
- 新型コロナ感染症外来の運営 等

(2) 入院及び外来の概況 (単位:百万円)

	令和4年度		
	増減	増減率	
入院収益 a	4,826	▲184	▲3.7%
入院患者延数 b	92,347人	▲7,817人	▲7.8%
入院診療単価 a/b	52,265円	2,245円	4.5%
平均在院日数	15.0日	0.8日	5.6%
病床利用率	74.2%	▲6.3p	—
外来収益 c	2,483	33	1.3%
外来患者延数 d	165,728人	▲3,388人	▲2.0%
外来診療単価 c/d	14,981円	498円	3.4%

(4) 令和4年度の主な設備投資 (単位:百万円)

- 改築整備事業(11,253)
  - ・本体建設工事(10,470)
  - ・院内保育所等建設工事(259)
  - ・外構工事(134) 等
- 医療機器等の整備(473)
  - ・磁気共鳴診断撮影装置(150)
  - ・人工呼吸器 2台(19)
  - ・産婦人科内視鏡システム(19) 等

(3) 経常収支の概況 (単位:百万円)

	令和4年度		
	増減	増減率	
医業収益 A	7,520	▲166	▲2.2%
医業外収益 B (うち新型コロナ補助金)	2,418 (1,097)	362 (311)	17.6% (39.6%)
医業費用 C	8,896	128	1.5%
医業外費用 D	339	42	14.1%
医業収支 A-C	▲1,376	▲294	—
経常収支(A+B)-(C+D)	703	26	3.8%

《主な増減要因》

- 医業収益 [▲166]
  - ・クラスターの発生に伴う新規入院受入制限等による入院収益の減 [▲184]
- 医業外収益 [+362]
  - ・新型コロナ補助金の増 [+311]
  - ※うち病床確保料 [+236]
  - ・一般会計繰入金の増 [+77]
- 医業費用 [+128]
  - ・看護師の処遇改善等による給与費の増 [+108]
  - ・電気料高騰による光熱水費の増 [+40]

## 5 こころの医療センター 【経常収支は1億5,300万円の赤字】

(1) 新型コロナ対応のための主な取組

- 電話による外来診療の推奨(R4.7月~9月)
- デイケア及び訪問看護の再開(R4.3月~) 等

(2) 入院及び外来の概況 (単位:百万円)

	令和4年度		
	増減	増減率	
入院収益 a	1,638	▲30	▲1.8%
入院患者延数 b	67,356人	▲3,478人	▲4.9%
入院診療単価 a/b	24,318円	769円	3.3%
平均在院日数	135.8日	▲21.5日	▲13.7%
病床利用率	86.6%	▲4.5p	—
外来収益 c	283	19	7.2%
外来患者延数 d	34,343人	2,535人	8.0%
外来診療単価 c/d	8,237円	▲55円	▲0.7%

(4) 令和4年度の主な設備投資 (単位:百万円)

- 医療機器等の整備(111)
  - ・総合医療情報システムサーバ機器更新(71)
  - ・脳波計(21) 等

(3) 経常収支の概況 (単位:百万円)

	令和4年度		
	増減	増減率	
医業収益 A	1,935	▲14	▲0.7%
医業外収益 B (うち新型コロナ補助金)	1,121 (43)	19 (21)	1.7% (95.5%)
医業費用 C	3,092	72	2.4%
医業外費用 D	117	▲4	▲3.3%
医業収支 A-C	▲1,157	▲86	—
経常収支(A+B)-(C+D)	▲153	▲63	—

《主な増減要因》

- 医業収益 [▲14]
  - ・患者数の減及びクラスターの発生に伴う新規入院受入制限等による入院収益の減 [▲30]
- 医業外収益 [+19]
  - ・新型コロナ補助金の増 [+21]
- 医業費用 [+72]
  - ・医師の増等による給与費の増 [+63]
  - ・電気料高騰による光熱水費の増 [+19]

※ 表中の「増減」及び「増減率」は対前年度。また、「医業収支」「経常収支」及び「総収支」の「増減率」は当年度及び前年度のいずれもが正数の時のみ記載。